



P&I 特別回報

第 14-019 号
2015 年 1 月 29 日

日本船主責任相互保険組合

外航組員各位

2015 保険年度国際 P&I グループ(IG)再保険プログラムについて

2015 保険年度の国際 P&I グループ(IG)再保険プログラムが以下の通り決定しましたのでご案内申し上げます。

1. 基本スキーム

2015 保険年度 IG 再保険プログラムの基本スキームは以下の通りです。

クラブ保有額	: 9 百万ドル
プール保有額	: 80 百万ドル(9 百万ドルを超える 71 百万ドル部分)
General Excess Loss Cover	: 20 億ドル(80 百万ドルを超える 20 億ドル部分)
Collective Overspill Cover	: 10 億ドル(20 億 8 千万ドルを超える 10 億ドル部分)

スキーム詳細については添付の IG 再保険プログラム表をご参照下さい。

2. てん補限度額

2015 保険年度の特定の損害に対するてん補限度額は以下の通りです(2014 保険年度と変更なし)。

油濁損害	: 10 億ドル
船客単独損害	: 20 億ドル
船客船員複合損害	: 30 億ドル

3. 船種別 IG 再保険料率

2015 保険年度の船種別 IG 再保険料率は以下の通りです。

Category	2014 保険年度	2015 保険年度	増減額	増減率
Dry Cargo	¢ 52.03	¢ 48.88	▲ ¢ 3.15	▲6.05%
Dirty Tanker	¢ 79.63	¢ 73.17	▲ ¢ 6.46	▲8.11%
Other Tanker	¢ 34.15	¢ 31.38	▲ ¢ 2.77	▲8.11%
Passenger	¢ 377.91	¢ 377.91	± ¢ 0.00	0.00%

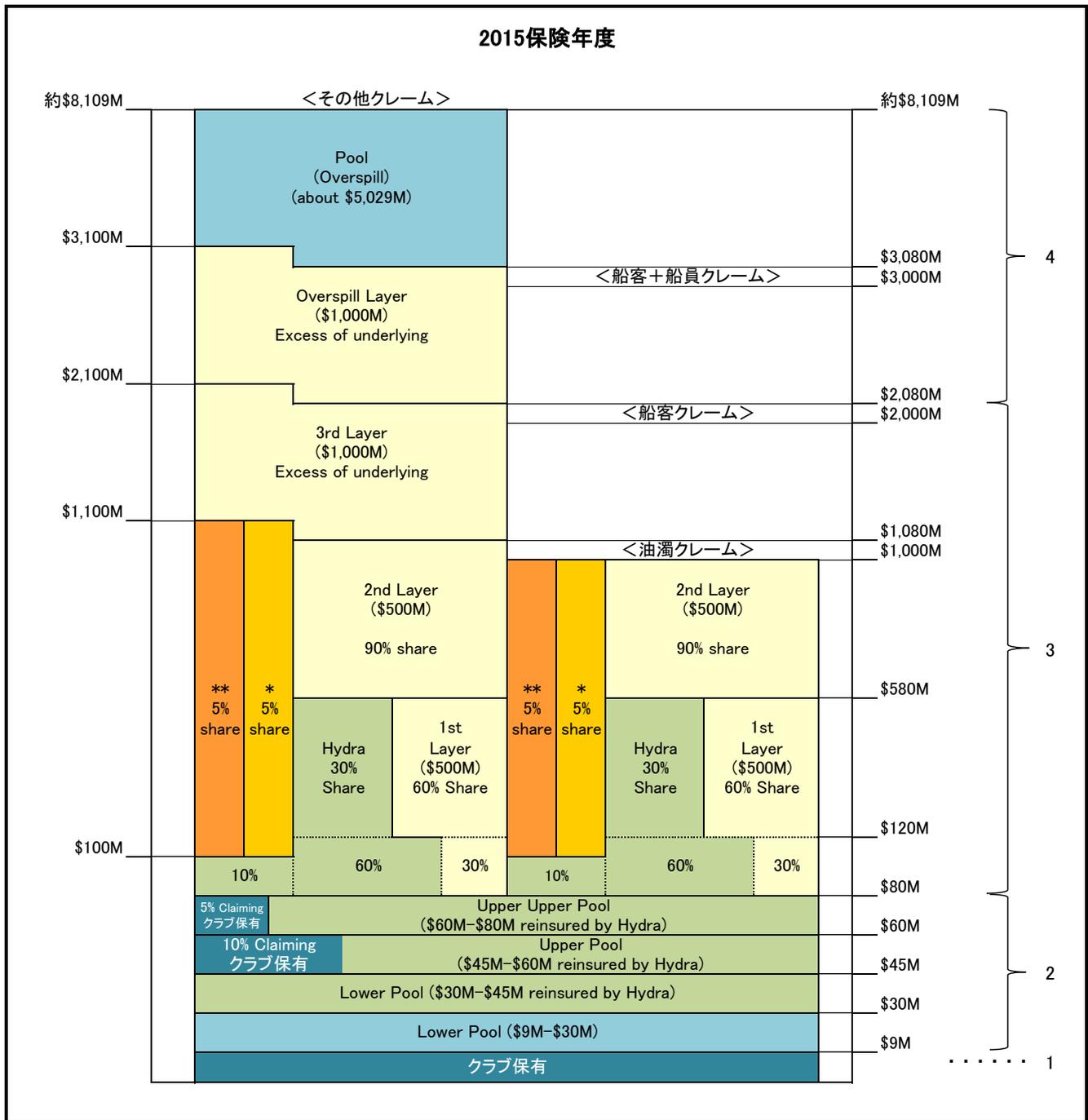
4. 更改経緯

2011 保険年度に発生した 2 件の大型事故(“Costa Concordia”及び”Rena”)の損害額が大幅に増加したことによる影響があったものの、2014 保険年度においては幸いにも目立った大型事故は少なく、再保険市場におけるキャパシティの増加を背景に IG 再保険プログラムを変更(Hydra 引き受け割合の増加と複数年定額再保険料契約の拡大)することで Dry 及び Tanker 船については再保険料引き下げ、客船については現状維持の結果を得ることができました。

以上

添付：IG再保険プログラム表

国際PIグループ再保険プログラム



- 9百万ドルまで
クラブ保有額と称し、各クラブの自己負担。
- 9百万ドルから80百万ドルまで
プールと称し、IG加盟13クラブが各々の分担率に基づき分担。
なお、プール部分のうち30百万ドルから80百万ドルまではHydraへ出再。
- 80百万ドルから2,080百万ドルまで
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。
(*2014PYからの3年間の複数年定額再保険料契約 **2015PYからの3年間の複数年定額再保険料契約)
1st Layerから3rd Layerに分かれており、各Layer毎に参加している再保険会社が異なる。
なお、1st Layerの内、一部はHydraへ出再。
- 2,080百万ドルから約8,109百万ドルまで
オーバースpillと称し、IG全クラブで分担し、その資金は各クラブがメンバーに請求する分担金(オーバースpill保険料)により賄う。
なお、オーバースpillのうち、2,080百万ドルから3,080百万ドルの部分については再保険マーケットで再保険を購入しており、この部分については同再保険で賄われる。

なお、油濁損害については10億ドル、船客に係る責任は20億ドル、船客と船員の場合は30億ドルの上限が設定されている。